



## CLUB WEEKLY No.0042

## よいことのために手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ

## 平和構築と紛争予防月間

例会日:2026年2月2日(令和8年2月2日)



会長 平松悦子

## 今日の例会

2026年2月2日

12:30~

- 今日の歌 君が代・奉仕の理想
- 出席報告 道木(良) 会員
- ニコニコ発表 道木(良) 会員
- 卓話 道木 憲子 会員
- IMRD PR 東大阪西ロータリークラブ
- 第8回理事会

## 次回の例会

2026年2月16日

18:30~

- 今日の歌 四つのテスト
- 出席報告 久保 会員
- ニコニコ発表 久保 会員
- 卓話 道木 良明 会員

## 会長の時間

【間嶋 伸治】

今日は平松会長が体調が悪くお休みです。今度の水曜日ですよね。八尾市南太子堂の「龍華コミセン」というところで、夢うららホットステーションさんにおいて、子ども食堂さんへ夕方4時50分集合で参加させていただきます。子どもたちが子ども食堂を利用することによって、将来自分たちが親になった時に、今の子ども食堂がどのような影響を与えるのか、そして自分が子どもを育てる立場になった時に、どんな良い形でつながっていくのか、そこまで考えていけたらいいなと思っています。例えば、お箸の置き方一つにしてもそうですし、「命をいただく」ということについても、本当にすべてのものに命があって、それを私たちはいただいているわけですよね。それに対して、本当にありがたいという気持ちを持って食事ができているのかどうか、ということです。私たちの命も、何と言うんでしょうか、「写し」に繋がっているようなものだとは思っています。五感を楽しみながら食事ができているのかも含めて、今度伺って、体感していきたいと思っています。関西は特に出汁の文化がありますので、出汁一つについて皆さんがどう思っておられるのか、そういうことも聞けたらいいなと思っています。

## 幹事報告

- ①2月7日シティプラザ大阪 2階にて開催されます、2026-27年度のための地区チーム・ラーニングセミナーには、職業奉仕の小林友美子会員、ロータリー財団の和田悠希子会員、国際・社会奉仕の中島勇人のお三方に出席していただきます。よろしくお願い致します。
- ②2月13日シェラトン都ホテル大阪「春日の間」にて開催されます  
第3回 IM第4組 会長・幹事会(金輪会)には平松会長に出席していただきます。宜しくお願い致します。

## 大阪上方ロータリークラブ

創立:2024年7月22日 例会:第1・3週目は対面・第4週目はオンライン

会長:平松 悦子  
幹事:久保 太公矢  
会報資料担当:青戸 佳世

【例会場】〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 6-1-55 シェラトン都ホテル大阪  
TEL:06-6773-1111 FAX:06-6773-3322  
【事務局】〒579-8058 東大阪神田町 3-12 医療法人翔聖会 気付  
TEL:080-2026-1803 Mail:osaka.kamigata.r.c@kind.ocn.ne.jp

社会奉仕委員会と職業奉仕委員会の1月28日の活動は、そのまま間嶋エレクトがおっしゃっていた通り開催なんです  
が、2月13日の訪問先が変わる予定ですので、それだけ、また決まり次第、皆さんに報告させていただきます。場所が  
変わるということだけ、ちょっと連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。

【溝畑 正信】

地区補助金に関連しまして、小林次年度社会奉仕委員長とも連絡を取ったんですが、今年度は子ども食堂に地区  
補助金を使って支援していました。次年度は何がいいかということで考えまして、インターネットで調べたところ、虐待児の  
お世話をしている施設があることを知りました。その名前は「ヌック」と言います。その施設は梅田に事務所があり、女性弁  
護士が5～6人在籍しています。虐待を受けた子ども、女性が6人、また男性も6人、それぞれ別の施設で保護されてい  
るそうです。ただ、私たちが被虐待者の施設に直接出向くのは難しいようなので、何らかの形で支援できないかと問い合  
わせています。私たちのメンバーにはいろいろな職業の人がいますので、職業訓練や職業研修として、その事業所に来て  
もらうとか、あるいはどこかの遊園地に同行するなど、そういった支援も検討できるのではないかと考えており、現在コンタク  
トを取っています。

たまたまこの前の土曜日に大阪大学法医学教室の同門会に行きました。そこに浅川弁護士という、梅田総合法律事  
務所の方がいらっしゃいました。この方は医学部と法学部を出ており、医師と弁護士の両方をされている方です。その方  
が、先ほどの「ヌック」ともよく知っていると言われていましたので、今後コンタクトを取りやすいのではないかと考えています。

ロータリー財団委員長【和田 悠希子】

1月24日に、地区ロータリー財団補助金管理セミナーが開催され、平松会長と竹谷社会奉仕委員長とともに出席し  
ました。補助金申請の要件として、このセミナーを受講修了すること、そしてロータリー財団の覚書（MOU）に会長エ  
レクトとノミニーが署名し提出すること、この2点が条件となっていました。これを無事クリアすることができました。

そのため、今年度も補助金の申請が可能になりました。

今年度は、子ども食堂や整肢学園の活動など、みんなで頑張った奉仕活動がありました。補助金があったことでお米  
をたくさん購入できるなど、活動の幅が広がったと感じています。私たちが行っている寄付の一つである「年次基金寄付」  
が、こうした補助金の財源となり、奉仕活動を支えています。

地区セミナーの中で、新藤地区ロータリー財団委員長の発表に「奉仕事業を表す3つの言葉」が紹介されました。

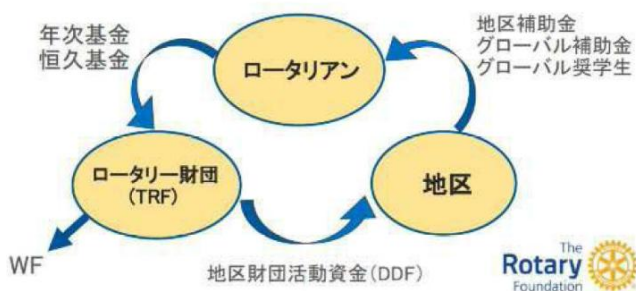
それは、「汗をかけ、知恵を出せ、金を出せ」というものです。

若い頃は汗をかいて活動し、忙しい時には経験や職業を生かして知恵を出し、余裕ができたらかし金を出す、という考え  
方です。上方ロータリークラブには、父が若者のようにパキスタンに飛んで行ったり、道木ご夫妻のように汗をかいて活動さ  
れるメンバーが多いらっしゃいます。そうした尊敬できる方々が身近にたくさんいることは、とても幸せなことだと、今回のセ  
ミナーに参加して改めて上方の良さをかみしめて帰ってきました。セミナーの資料は、パワーポイントをPDFにしたものがあ  
りますので、脇門さんへお願いすれば送ってもらえると思います。よろしければぜひご覧ください。

また、セミナーを実際に受講するのが一番分かりやすく、これだけ多くの人が奉仕活動に向き合っていることに感動もあり  
ますので、ぜひ一度受けてみてください。

(セミナー資料抜粋)

資金の流れ



地区補助金の業務サイクル



## 地区補助金

(1年以内)

基本補助金額	プロジェクト総額	クラブ負担額	補助金
人道奉仕	40万円以上	地区補助金 申請額と 同額以上	20万円～ 60万円
奨学金			
職業研修			
人道的国際奉仕			20万円～ 100万円

\* 寄付実績に基づいて減額される場合も。最低補助金は20万円です。

## プロジェクトの目的を明確に


Who 誰のために (受益者) 5 W  
1 H  
 Why なぜ (地域社会調査)  
 What 何をするのか (プロジェクトの内容)  
 When いつ (9月～2月頃)  
 Where どこで(実施地/場所)  
 How どの様にして (ロータリアンの役割)

\* 申請書に書ききれない場合は別紙に記載


## 受益者の事例

- ・生活困窮者
- ・児童、子供、学生、青少年
- ・心身に障害をお持ちの方
- ・児童養護施設などの入居者
- ・こども食堂などを利用される方
- ・震災などにより被災された方 (能登半島地震など)
- ・戦争や紛争などで影響を受けた方 (ウクライナ難民)


## 2025-26年度 申請事例 (1)

- ① 子供食堂に、お米や飲料水、果物などの生鮮食料品、文具などを寄贈する。
- ② 市内の子供園の老朽化した遊具を撤去し、新しい遊具を寄贈する。
- ③ 岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災で被災された方に下着や靴下などの衣料品を寄贈する。


## 2025-26年度 申請事例 (2)

- ④ 能登半島地震で被災した子供たちを万博や遊園地に招待する。
- ⑤ ラグビースクールに所属する小学生を、ラグビーの聖地「花園ラグビー場」に招待しイベントを開催する。
- ⑥ タンザニアに日本人指導者を派遣し、女子ソフトボール指導者育成支援プロジェクトを開催する。

## 2025-26年度 申請事例 (3)

- ⑦ ウクライナからの留学生に被服費、生活消耗品などの生活費を支援する。
- ⑧ 支援学校の生徒とその家族を野球観戦やコンサートに招待する。
- ⑨ フィリピンの小学校の建物改築や既存トイレなどの改修工事を行う。

## 補助金を使用できない事例

- ① 公園にベンチを設置する。
- ② 駅前ロータリーに時計台や温度計を設置する。
- ③ 行政や他団体が企画したイベントへ、資金のみの提供。

## 主な制約事項 (継続事業について)

例① フィリピンの小学校に毎年トイレを寄贈する  
 今年は「A小学校」、来年は「B小学校」、  
 再来年は「C小学校」・・・

トイレを寄贈すると言う同じ事業が続くが、  
**受益者が毎年変わる**ので継続事業には当たらない

## 主な制約事項 (継続事業について)

例② D児童養護施設に、毎年備品を寄贈する  
 今年は「学習用品」、来年は「生活用品」  
 再来年は「エアコンなど」・・・

受益者が**同じ施設の同じ入居者**となり、過度な支援対象に該当します。  
 このような場合は、**期限を明確**にして支援してください。  
 (最長は5年くらいが望ましい)  
 申請書には「3年計画における1年目」など記載してください。

## 主な制約事項 (継続事業について)

財団補助金は、最終的には支援対象の自立を目指しています。  
 無期限の継続的支援により、受益者が支援に期待・依存してしまうことを避ける必要があります。  
 そのため、原則として複数年度にまたがる継続的支援は禁止。  
 単年度での事業完了が求められます。

(ハンドブックP9に掲載)

自己紹介に引き続き、現在の職業「株式会社ベストプランコム株式会社セブンコンサルティング」の概要をお話させていただきました。セブンコンサルティングの前身はEn Stat Officeという名前で、「クリニックリサーチ」、「デンタルリサーチ」、「税理士・会計士リサーチ」、「動物病院リサーチ」という4つのポータルサイトを運営しておりました。私の小学校時代から大学在学中まで、数々のアルバイトを経験しましたが、京都らしい祇園祭や発掘調査にかかわることができ、高校時代に競技スキー部に在籍していましたので、その大好きなスキーができる志賀高原一ノ瀬スキー場のホテルでのアルバイトや居候は特に思い出深い経験です。



志賀高原 一ノ瀬スキー場

夏休みに、は白馬仁科三湖の一つである青木湖畔のリゾートホテルでのアルバイト経験も忘れられません。当時大人気だった「バスボン」のCMに出られていた松本ちえこさんと二人きりでゲームをしたのは特に印象に残っています。京都、滋賀の住居地以外で滞在期間の一番長い長野県は日本の中で最も好きなエリアです。その後大学を卒業し、私鉄系旅行会社に就職しました。団体向け営業所に配属され、国内外への添乗の仕事は非常に楽しくもあり、辛くもあり、失敗もトラブルも多くの経験をさせていただきました。数々の失敗経験、トラベルミステリーではなくミステイクのいくつかをご紹介させていただきましたが、今となっては笑い話になるのかと思います。

趣味と言えば魚釣りです。その中でも「カヤックフィッシング」は50代になってから始め、3年ほど前に辞めましたが、主に越前海岸の沖合2キロ、水深70メートル付近で、わずか3〜4メートルのカヤックに乗り、大海原に一人でボツンと浮かんで無心で魚を釣るという極上の、至福の時間を過ごせました。真鯛やブリも釣ることができ、魚を捌くこともできるようになりました。魚の中では特に「キジハタ（アコウ）」が一番好きな魚になりました。先ほどのお魚の画像をお見せしましたが、皆さんにクイズをお出しします。①②③の魚の名前はわかりましたか？



残り時間は、現在の本業である保険のお話を少ししたいと思います。ガン保険のお話です。昔の保険と現代の保険は、医療技術の進歩や制度の改革に密接にかかわります。その中でも再発予防や自由診療という分野は昔のガン保険ではカバーできなくなっています。またがん治療におけるセカンドオピニオンを米国の病院から取得できる時代にもなっております。

最後に私の好きな言葉を。「死にたくなったら下を見る、一番下に俺がいる」誰が言ったのかは内緒ですが、昨今のイジメなどで若い方たちが苦悩を覚え、死を考えたりしていることからの救いになればと。

